

平成 31 年・令和元年（2019 年）の神津島の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

噴火警報・予報の状況、2019 年の発表履歴

7 月 30 日 15 時 00 分	噴火警戒レベル運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表
--------------------	---

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1）
前浜南東監視カメラ（天上山の南西約 3 km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。
- ・地震や微動の発生状況（図 2 - 、図 3）
神津島付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 2 - ~ 、図 4）
GNSS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。



図 1 神津島 天上山山頂部の状況（12 月 3 日、前浜南東監視カメラによる）

この資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

【計数基準の変遷】
 A型地震：2010年10月1日（観測開始）～ 天上山西から半径5km、深さ15km以内
 BH型地震：2010年8月2日～2013年9月30日 天上山西振幅0.8 μ m/s以上
 2013年10月1日～ 天上山西振幅4.0 μ m/s以上

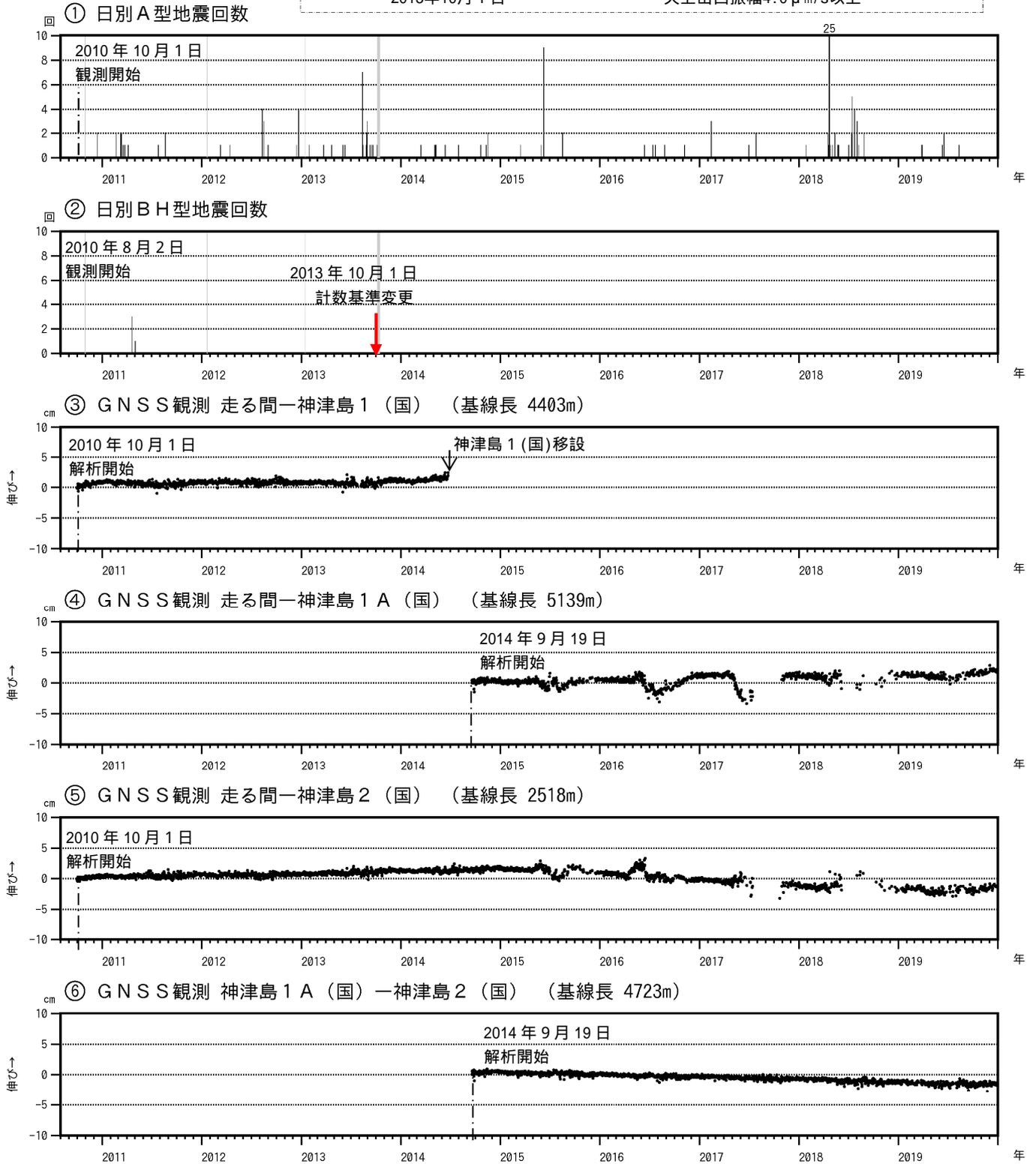


図2 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2019年12月31日)

～ GNSS連続観測による基線長変化（国）：国土地理院

～ は図4のGNSS基線～に対応しています。空白部分は欠測を示します。

神津島1から神津島1Aに2014年9月19日移設しました。

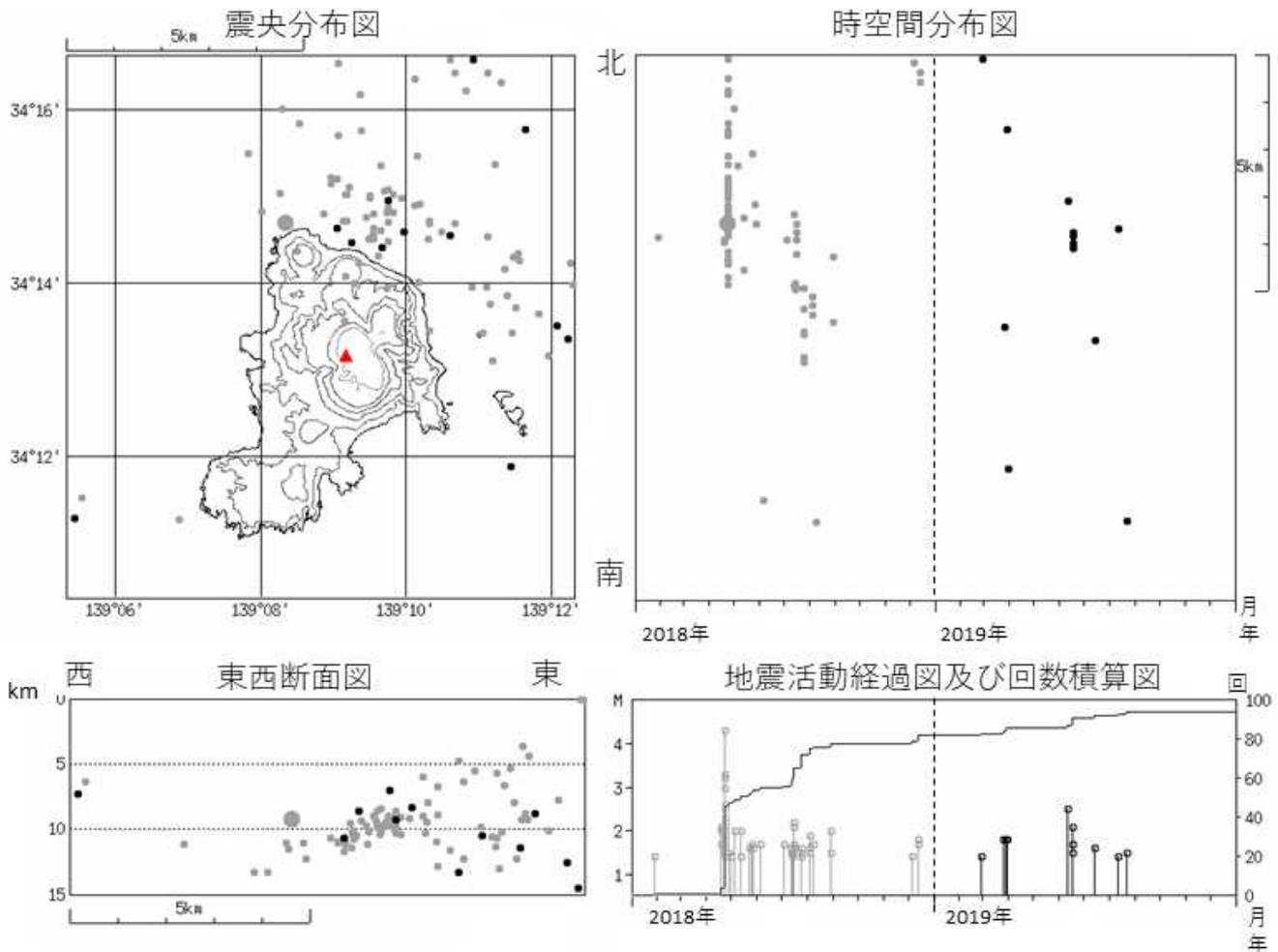


図3 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2018年1月1日~2019年12月31日)

: 2018年1月1日~12月31日 : 2019年1月1日~12月31日

M(マグニチュード)は地震の規模を表し、M1.4以上の地震を表示しています。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

